



通学路であり早急な改修が望まれる金井蛇橋



大森政美 議員

音羽町1・中学校線の交通安全対策は

拡幅等早急な対応が必要であると考えている

問 小中学生の安全を確保する対策として、音羽町1・中学校線に架かる通称金井蛇橋（第1橋）の改修・歩道等設置については、

橋梁の耐久性等の調査を実施し検討したいとのことであったが、調査結果はどうであったのか。

建設課長 25年度、防災安

全交付事業により、調査・点検を行ったが大きな損傷等は見られなかった。

問 通称小島街道の新踏切が供用開始され、旧踏切が完全閉鎖されましたが、

金井蛇橋を渡る車を見てみると、旧踏切側の安全確認の必要がなくなったため、「止まれ」の標識を無視し

通過する車が多くみられ、危険度が増したように思われるが対策は。

建設課長 本橋梁は幅員が狭く自動車のすれ違いが困難なうえ、小中学生の通学路となっていることから、拡幅等早急な対応が必要であると考えている。

交流の場として黒田原第1保育園活用の考えは

黒田原第1保育園は取り壊す考えである

問 高齢者が交流できる場、高齢者と子供たちが交流できる場の整備は、高齢者には生きがい、子ども達には安全・安心、そして健康的に過ごすことができるものではないかと考えているところである。そこで、黒田原第1保育園の活用であります、現在整備中の新保

育園に平成27年度には移転することとなると思いますが、旧保育園を交流の場として利用できないか。移転後の旧保育園の活用について町の考えは。

保健福祉課長 高齢者同士の交流あるいは子供たちとの交流については、生きがいづくりや閉じこもり防止、

あるいは要介護状態の防止など、様々な効果が期待できるものと考えておりますが、黒田原第1保育園につきましては、昭和54年建築の建物で老朽化が進んでおり、新保育園移転後は取り壊す考えでいる。